

飯山市の動き 平成20年1月～12月

- 1月20日 ● 野沢温泉村で行われた第74回長野県スキー選手権大会男子リレーで、飯山市スキークラブが優勝。同大会二連覇を果たす。
- 2月1日 ● 性別に関係なく誰もが人権を尊重され各分野に積極的に参画できる社会を目指し「飯山市男女共同参画社会づくり条例」施行
- 2月9日・10日 ● 第26回いいやま雪まつり開催
- 2月15日 ● FISワールドカップB ノルディックコンバインド飯山大会開催
- 3月 ● 飯山市中学校統合計画策定
- 4月1日 ● 東京都板橋区ハッピーロード大山商店街で飯山の農産物の産直販売を開始
- 4月22日 ● 木島・瑞穂地区を結ぶ飯山市・木島平村広域農免道路が開通
- 4月26日～5月6日 ● 千曲川両岸を結ぶ渡し舟「菜の花の渡し」運航。25年ぶりに千曲川の渡し舟が復活した。
- 5月3日～5日 ● 第25回いいやま菜の花まつり開催
- 5月28日 ● 市内在住の創作人形作家高橋まゆみさんの作品を展示するための施設建設に向け、人形館建設委員会が発足
- 5月30日 ● 長峰工業団地へのアクセス道路としての機能も持つ県道飯山新井線下水沢バイパスが開通
- 6月10日 ● 北陸新幹線飯山駅高架橋工事が始まる
- 8月6日 ● 平和の大切さを学ぶため中学生6名が広島市の平和記念式典に参加
- 8月9日 ● いいやま灯籠まつり開催
- 8月 ● 外国語教育充実のため各中学校に1名ずつ、計3名の外国語指導助手を配置
- 9月1日 ● 総合福祉センターから分離移転した福祉センター、須多峰介護センター、心身障害児母子通園訓練施設が開所
- 9月13日 ● 信越トレイル80kmが全区間開通
- 9月18日 ● 岡山地区土倉出身で東京都在住の桑原定男さんが飯山市へ1億円を寄付
- 10月12日 ● 市内一周の新コースで飯山市駅伝大会開催
- 10月19日 ● 飯山トンネルウォーク開催
- 10月23日 ● ごみ減量の推進について飯山市廃棄物減量等推進委員会から答申
- 10月31日 ● 柳原保育園・外様保育園が閉園
- 11月1日 ● 柳原保育園・外様保育園が統合した「いずみだい保育園」が開園
- 11月20日 ● 市営住宅「新町団地」しゅん工
- 12月 ● 長峰スポーツ公園 多目的運動広場にナイター照明を新設



△柳原・外様保育園が統合し、いずみだい保育園が11月1日に開園。園舎は旧柳原保育園舎を大規模改修・増築し活用。また、お友だちも増え、園児たちがより楽しく安心して過ごすことのできる環境が整いました。



△市内在住の著名な創作人形作家、高橋まゆみさんの作品を展示するための人形館の建設に向け建設委員会が発足。10月には飯山で初となる作品展が開催され、来場者は8000人を超えました。



△新幹線駅周辺整備に伴う総合福祉センター移転のため新築・改修工事が進められてきた須多峰介護センター、福祉センター、心身障害児母子通園訓練施設（ゆきんこ園）の各施設が9月1日に開所しました。



いいやま灯籠まつり

4回目の開催となった今回は「動」と「静」の二部構成で開催。市民の皆さんなどによる信濃の国「ソーラン節」をテーマとしたダンスや、灯籠が商店街を灯す幻想的な雰囲気を作り出し、大勢の皆さんが楽しみました。



6年後の新幹線開業に向け

北陸新幹線飯山駅高架橋工事の着工、区画整理事業の本格化により、間近に新幹線開業を感じられるようになりました。（写真⑤）

千曲川「菜の花の渡し」運航

4月下旬から5月大型連休の期間、菜の花の開花にあわせ千曲川の両岸を結ぶ渡し舟「菜の花の渡し」が運航され、菜の花まつり来場者をはじめ3000人を超えるお客さんが利用しました。（写真⑥）



△開業前の北陸新幹線飯山トンネルを歩く「新幹線トンネルウォーク」。約300人の市民が参加しました。



△市廃棄物減量等推進審議会からの答申を受け、ごみ減量に向け踏み出しました。



△本町商店街では「六斎市」が今年もオープン。ぶらり広場には簡易販売施設も新設され、買い物客で賑わいました。



△市営住宅「新町団地」が完成

平成20年こんな事がありました 市政この1年

今後5年間の飯山市の取り組みの指針となる「飯山市第4次総合計画 後期基本計画」がスタートした平成20年。北陸新幹線飯山駅開業を6年後に控え、駅周辺区画整理に伴う工事や新幹線飯山駅高架橋工事の着工など、その槌音がいよいよ大きくなってきました。また中学校統合計画の策定、答申を受けごみ減量に向けた取り組みが始まるなど、将来に向けた新たな一歩を踏み出した年でもありました。

一方、灯籠まつりなどのイベントでは、多くの市民の皆さんが参加。来年も協働の力で元氣な飯山市が作られていくことでしょう。



信越トレイル80kmの全区間が運用開始

NPO法人信越トレイルクラブがボランティアなどとともに整備を進めてきた信越トレイルの未開通区間30kmが運用開始となり、この地域に新たな魅力が加わりました。（写真⑦）



⑦10月4日・5日の2日間、愛宕町雁木通りで恒例の「第8回いいやま花フェスタ寺町花街道」が開催され、2日間で約6000人が花いっぱい街並みを楽しみました。